

2025. 8. 4

高齢者や障がい者などに優しい観光地に 「ユニバーサルツーリズム研修」開催しました。 ～19社36名が参加～

横浜市観光協会は、7月2日(水) に、障がいの有無や年齢にかかわらず全ての方がより安全で快適に観光できる「ユニバーサルツーリズム」促進のため、「ユニバーサルツーリズム研修」を開催します。本研修では、バリアフリー旅行の豊富な経験とノウハウを持つ講師が、車いす体験を通して、どのようなサポートや声かけが必要とされているかを分かりやすく解説しました。

研修の様子

「お客が集まるバリアフリー(以下BF)観光」と題して、NPO法人伊勢志摩バリアフリースターセンター理事長の中村元先生に、観光マーケットに潜在する巨大なBFマーケットの存在について講演いただきました。
多少のバリアはあっても、そこを乗り越えるだけの魅力があれば人は来る。設備が整っているかどうかよりも、旅行者は、まず観光そのものが魅力的であることを最優先していることもご説明いただきました。



「石川県のバリアフリー観光の実践について」と題し、NPO法人石川バリアフリースターセンター 理事長の坂井先生に常日頃の地域・他地域とのコミュニケーションの重要性について能登の震災の様子を例に、講演いただきました。
ワークショップでは、車いす等に座ったままでも着付けることができる着物の紹介と着付けもしていただきました。



湘南バリアフリーセンターの榎原先生からは、歩行補助器や杖などの用具も紹介していただきました。
参加者は車いす体験で、乗る側と押す側両方体験しました。

研修に参加した或る事業者さまは、すべてのお客様に気持ち良くお買い物をしてほしいと、ユニバーサルショップ宣言をし、店舗の段差やスロープについて写真付きで分かりやすく情報を発信してくださいました。